

事前に提出いただいた意見書

東 一成 委員

吉田美佐子委員

松本より子委員

宮澤 聖二委員

森谷 秀一委員

意見書

委員氏名 東 一成

(3) 入間市介護人材実態調査（案）の内容決定について

前半部分が厚労省の調査内容に従ったスタッフ数の把握でしょうか。

このままで良いと思います。

問2以降が調査の目的である「人材確保に必要な方策を検討する」ための質問内容でしょうか。質問が増えるといけないのですが、気になるのは、

○採用について

- ・各施設ごとの充足状況「充足/やや不足/大幅に不足、などごく簡単に」
- ・採用活動で最も苦勞している職種（介護職/看護職/相談員、など自由記載でも良いと思います。）
- ・採用コストと期間
- ・採用できない主な理由（応募がない/条件が合わない/辞退が多い など）

○離職について

- ・新人定着支援策の有無（OJT/メンター制/面談 など）
- ・平均勤続年数
- ・離職者の年齢層と勤続期間

などがあった方が具体的な方策と、採用戦略のターゲット選定に良いのではないかと思います。質問が増える方が良くないと思いますので、質問数を優先で良いと思います。

意見書

委員氏名 吉田 美佐子

(3) 入間市介護人材実態調査（案）の内容決定について

人材の確保について

問 3-2 ・「ランニングコストを上回るサービス提供が出来ず」

理解が難しかったです。説明をお願いいたします。

・「従業員の休暇を取りやすくする等」

介護業界が休みが取れていないように感じてしまうので、例えば
残業の軽減や有休取得率の向上等、職場環境の整備が…。

・「利用定員を増やす等…」

例「事業拡大が難しかった」「事業縮小をせざるを得なかった」など
ここでいう「サービス提供」とは、何を指しているのか教えて
下さい。全事業所対象になっているので、なかなか難しいとは
理解できます。

問 6 「人材確保に関して行政に求めることはない」

市からの事業所へのアンケートで、この文は不適切と考えられます。
常に連携をしていく必要のある関係であるべきだと思うので、検討
していただきたいです。

意見書

委員氏名 松本 より子

(3) 入間市介護人材実態調査（案）の内容決定について

回答は、パソコン入力ができる様にして欲しい。

介護人材の確保には、働きやすい環境整備が事業所も行政にも必要だと思いますが、問6の「人材確保に関して行政に求めることはない」を削除して、潜在有資格者、ボランティアのマッチング事業と入れたほうが良いと思います。

意見書

委員氏名 宮澤 聖一

(3) 入間市介護人材実態調査（案）の内容決定について

- ① 回答するのは誰ですか？囲みの中に“事業所の皆さまからのご意見を把握したいと考えている”とある。一方、問 2-3、2-5、3-2 などから各事業所の責任者が答えるべき質問と思われる。回答のブレ、集計の際の混乱を防ぐ意味からも、回答いただくのは事業所の代表者あるいは管理監督者と明記した方がよいのではないかと。
- ② 問 5 ICTとは何か？余白に簡単に語句の意味を記載してはどうか。介護の専門家なら当然知っている用語なのだろうが、全ての審議会委員に分かるようにしていただきたい。

意見書

委員氏名 森谷 秀一

(3) 入間市介護人材実態調査（案）の内容決定について

本アンケートは、入間市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査と同様、今後、3年毎に定期的に実施されるのでしょうか？